

午後Ⅱ試験

問 1

問 1 では、データセンターのネットワークの検討を題材に、VXLAN の概要と VTEP で行われる処理、VXLAN でカプセル化された IP パケットの転送方式、及び EVPN の概要と特徴について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問 1 では、(1)c の正答率が低かった。VXLAN はデータセンターのネットワークなどに採用される事例が少ない。また、VXLAN のカプセル化は、VXLAN を理解する上で重要な技術の一つである。是非知っておいてもらいたい。

設問 2 では、(1)e、(2)の正答率が低かった。OSPF は多くのネットワーク技術者にとって設計、構築及び運用など、様々な場面で必要とされる技術である。OSPF の仕組みや仕様を正しく理解してほしい。

設問 3 では、(3)ク、コの正答率がやや低かった。クとコの解答が逆であったり、VM の IP アドレスにしていたりする誤った解答が散見された。L3SW11 及び L3SW31 で行われる処理自体は複雑ではないので、本文をよく読んで正答を導き出すよう心掛けてもらいたい。

設問 4 では、(1)の正答率が低かった。設問 2 の OSPF と同様に、BGP も様々な場面で利用されている重要なネットワーク技術である。BGP についても理解を深めてほしい。

問 2

問 2 では、電子メール（以下、メールという）を用いた製品サポートを題材に、メールによるなりすましを検知するための対策について出題した。正答率は全体として平均的であった。

設問 1 では、(2)の正答率が低かった。本問の構成のように、送信元が社内メールサーバ Y だけの場合、振分けの偏りを小さくするには、DNS キャッシュの生存時間を短くして、社内 DNS サーバ Y に対する名前解決要求を頻繁に発生させる必要があることを理解してほしい。

設問 3 では、(3)の正答率が低かった。本問の構成では、メール中継サーバ Y1 と Y2 が DKIM 処理を行うことから、受信したメールに付与された電子署名が真正であれば、当該メールが Y 社のメールサーバから送信されたことが分かることを導き出してほしい。

設問 4 では、(3)及び(4)の正答率が低かった。(3)については、鍵の漏えい時に発生する影響を基に、影響の具体的な内容を導き出してほしい。(4)については、Z 社から社外に送信されるメールは、DKIM 処理を行う同じメール中継サーバ Z から送信される構成であることを基に、正答を導き出してほしい。